



ブラームス・チクルスの決定版！
名匠の手で現代に甦るブラームスの古き佳き響き

BAMBERGER SYMPHONIKER BRAHMS CYCLES

バンベルク交響楽団
ブラームス・チクルス



10/17 (土) 19:00
すみだトリフォニーホール

Saturday, October 17, 2009 at 7 p.m. Sumida Triphony Hall

10/19 (月) 19:00
サントリーホール

Monday, October 19, 2009 at 7 p.m. Suntory Hall

10/20 (火) 19:00
サントリーホール

Tuesday, October 20, 2009 at 7 p.m. Suntory Hall



©Alexandra Vosding

バンベルク交響楽団

Bamberger Symphoniker - Bayerische Staatsphilharmonie

首席指揮者: ジョナサン・ノット

Jonathan Nott, Principal Conductor

ヴァイオリン: クリスティアン・テツラフ (10/19)

Christian Tezlaff, Violin

ピアノ: ピエール=ロラン・エマール (10/20)

Pierre-Laurent Aimard, Piano

バンベルク交響楽団の歴史

ドイツの代表的なオーケストラで日本でもファンの多いバンベルク交響楽団だが、その歴史は以外にも新しい。創立からまだ60年余りしかたっていないのだ。

創設 ～発祥の地はボヘミア

- 1945年 戦後、プラハ・ドイツ・フィルの元メンバーや、現在のポーランドやチェコの地域のドイツ人音楽家たちがバンベルクに結集。
- 1946年 「バンベルク・ミュージシャン・オーケストラ」として初めての演奏会を開催。名称を「バンベルク交響楽団」と改称。



ヨーゼフ・カイルベルト

発展 ～名匠たちのもとで急成長

1949年～1968年、首席指揮者を戦後ドイツを代表する巨匠ヨーゼフ・カイルベルトが務め、オーケストラの名前が広く知られるようになる。



オイゲン・ヨッフム

戦後ドイツの音楽大使として、フランス(1949年)、ポルトガルならびにスペイン(1950年)、アメリカ大陸(1954年)へとツアーを行って以来、現在に至るまでドイツでも最も頻りにツアーを行うオーケストラに成長。

ハンス・クナッパースブッシュ、クレメンス・クラウス、オイゲン・ヨッフム、ジェイムズ・ロッドホラン、ヴィトルド・ロヴィツキ、イシュトヴァン・ケルテスらの著名指揮者を迎え、バンベルク独自の重厚だが柔らかさやあたたかさを持ったサウンドとスタイルを確立。

- 1985年～1996年 首席指揮者：ホルスト・シュタイン
- 1993年～1998年 首席客演指揮者：インゴ・メッツマッハー



ホルスト・シュタイン

“オーケストラの街”バンベルク

バンベルクの町は人口7万人ほど。旧市街が世界遺産とはいえ、バイエルン州の地方都市にすぎないが、そこに国際的に抜群な知名度を誇るオーケストラが存在する例は他に類を見ない。なんと人口7万に対してバンベルク響の定期会員が約6000人。街の約1割弱がオーケストラの定期会員である。

伝 統

バンベルク交響楽団のブラームス

ブラームスの演奏には特に定評があり、1990年、98年の来日公演でブラームス・チクルスを行った(シュタイン指揮)。またCDでも2度にわたって交響曲全集をリリースしている。

新しい時代へ

1993年、新しいコンサートホール“ヨーゼフ・カイルベルト・ザール”が完成。

そして2000年からは首席指揮者に、パリのアンサンブル・アンテルコンタンポランの首席指揮者も務め、近代・現代音楽に造詣の深いジョナサン・ノットが就任。2004年からはバイエルン州の援助も受け「バイエルン州立交響楽団」の名譽も与えられた。

今、ドイツのオーケストラ界では、ラトル&ベルリン・フィル、メッツマッハー&ベルリン・ドイツ響、P.ヤルヴィ&フランクフルト放送響のように、伝統を誇る名門オーケストラが近代・現代音楽を得意とする指揮者とコンビを組み、従来よりレパートリーを拡大、古典派・ロマン派音楽にも新しい息吹を求めていくことが大きな潮流となっている。

ノット&バンベルク響もその最先端なのだ。2006年の来日時でも、マーラーの演奏などに古き佳き味わいと先鋭な響きがほどよく調和し、“新生バンベルク”を印象付けていた。

革 新

満を持した“現代の”ブラームス・チクルス

ノット&バンベルク響は昨シーズンに、ストラヴィンスキーやドビュッシー、バルトークなどのレパートリーとともにシューベルト・チクルスを行ったり、マーラーの作品を多くとり上げている。ノットは現代曲を得意とする以前に、ドイツの歌劇場のカペルマイスターを歴任してきた叩き上げなので、シューベルトやブラームスなどのドイツ・ロマン派音楽も骨の髄まで染みこんでいるのだ。

そして、ブラームスという作曲家も、そもそも“保守的”という一般にもたれるイメージをはるかに超え、「伝統」の中に「革新」を融合した、後の作曲家たちを啓発する創意に富む作曲家。今回のノット&バンベルク響のチクルスは、まさにそうしたブラームスの音楽を改めて味わい直す絶好の機会となるだろう。

また協奏曲のソリストには現代最高のヴァイオリニストとピアニストの一人が同行する。ノット&バンベルク響のスタイルとは相性抜群でもあるクリスティアン・テツラフとピエール＝ロラン・エマールだ。(特にエマールは、今シーズンのバンベルク響アーティスト・イン・レジデンスを務めている。)

彼らの共演で、より今回のチクルスのカラーが鮮明になるに違いない。



ブラームスの全貌を聴くにはやはりセット券がお得。交響曲全4曲と、協奏曲

2曲を2人の名手の演奏で!

ノットのタクトは私たちをどこへ導いてくれるのか…!?

3回のコンサートで「伝統と革新は矛盾しない」ことを是非皆様もご自分の肌で体験下さい!

10/17(土) 19:00 すみだトリフォニーホール www.triphony.com

Saturday, October 17, 2009 at 7 p.m. Sumida Triphony Hall

ブラームス

交響曲第1番 八短調 op.68

Brahms: Symphony No.1 in C minor op.68

交響曲第4番 ホ短調 op.98

Symphony No.4 in E minor op.98



平成21年度文化庁
芸術拠点形成事業

S¥13,000 A¥11,000

B¥9,000 C¥6,000

(トリフォニークラブ会員はS¥11,700 A¥9,900

B¥8,100 C¥5,400 同時入会申込可)

主催: すみだトリフォニーホール

特別協力: KAJIMOTO

ブラームスの交響曲、いや全作品の中でも最も人気の高い2曲が一晩に聴ける、まさにブラームス・チクルスの真骨頂!

ブラームスが20年の歳月をかけ満を持して世に問うた、凝りに凝った初めての交響曲と晩年の作曲技法の粋を極めた、哀愁たゞよう最後の交響曲をノットがどう指揮するか期待が高まります。

10/19(月) 19:00 サントリーホール

Monday, October 19, 2009 at 7 p.m. Suntory Hall

ブラームス

悲劇的序曲 op.81

Brahms: Tragic Overture op.81

ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

Violin Concerto in D major op.77

ヴァイオリン: クリスティアン・テツラフ
Christian Tezloff, Violin

交響曲第2番 二長調 op.73

Symphony No.2 in D major op.73

WORLD
ORCHESTRAS
SERIES
2009

S¥16,000 A¥14,000

B¥12,000 C¥9,000 D¥5,000

プラチナ券¥21,000

主催: KAJIMOTO

特別協力: すみだトリフォニーホール

交響曲4曲の中で一番地味と思われるがちな第2番。しかしその自然の薫りたゞよう渋さが、ポヘミアに起源を持つバンベルク響の演奏では深い味わいとなり感動を誘います。

また、この協奏曲を通算で150回は弾いたという、ブラームスと同郷でドイツ最高峰の名手テツラフの演奏は必聴です。

10/20(火) 19:00 サントリーホール

Tuesday, October 20, 2009 at 7 p.m. Suntory Hall

ブラームス

大学祝典序曲 op.80

Brahms: Academic Festival Overture op.80

交響曲第3番 へ長調 op.90

Symphony No.3 in F major op.90

ピアノ協奏曲第1番 二短調 op.15

Piano Concerto No.1 in D minor op.15

ピアノ: ピエール=ロラン・エマール
Pierre-Laurent Aimard, Piano

WORLD
ORCHESTRAS
SERIES
2009

S¥16,000 A¥14,000

B¥12,000 C¥9,000 D¥5,000

プラチナ券¥21,000

主催: KAJIMOTO

特別協力: すみだトリフォニーホール

交響曲第3番第3楽章の、憂いを帯びた、誰もが知る美しい旋律のみならず、全編にわたるバンベルク響の音の響きをじっくり味わいください。

古典から近現代曲まで素晴らしく高度な解釈と演奏で常に話題を呼ぶ、今世界中で注目の名匠エマールがシリーズのトリを飾ります。作品にどんな息吹が吹き込まれるのかが離せません。

戦後の1946年、ブラハ・ドイツ・フィルの元メンバーらによって古都バンベルクで結成。カイルベルト、ケンペ、ヨッフム、シュタイン、メッツマッハーら著名な指揮者たちによって独自のサウンドが磨き上げられ、海外ツアーも多く行った。1993年にはすぐれた音響のコンサートホールも完成して更なる飛躍をとげ、2000年にはジョナサン・ノットが首席指揮者に就任。将来を見据えたオーケストラが彼の手に委ねられた。2004年には「バイエルン州立交響楽団」の名誉も得る。現在ドイツで最も多忙な、今もなお古き佳き響きを残したオーケストラの一つで、演奏会のほか、放送やレコーディングも盛んに行っている。



首席指揮者:
ジョナサン・ノット
Jonathan Nott, *Principal Conductor*

1980年代終わりから90年代にかけてドイツ各地の歌劇場の指揮者を務めた後、2000年にバリのアンサンブル・アンテルコンタンポランの音楽監督となり、ドイツ音楽とともに近・現代のレパートリーを得意としている。ベルリン・フィルと録音したリゲティ作品集は非常に高い評価を得た。2000年からバンベルク響の首席指揮者となり、その創造的な活動はヨーロッパでも注目され、2007年にはルツェルン・フェスティバルの“アーティスト・エトワール”を務めた。ほかにもベルリン・フィル、ウィーン・フィルをはじめニューヨーク・フィル、ロスアンジェルス・フィルなど数々の超一流オーケストラに客演。

ヴァイオリン:
クリスティアン・テツラフ
Christian Tezlaff, *Violin*

1966年ハンブルク生まれ。リューベック音楽院とシンシナティ音楽院で学び、早くから大器として囑望された。現代ドイツ最高のヴァイオリニストの一人である。超絶的な技巧と鋭敏な現代感覚で、古典派やロマン派同様、同時代の音楽にも精通している。プーレーズやサロネンらの指揮のもと、ベルリン・フィル、パリ管、ロンドン響、クリーヴランド管などの超一流オーケストラと定期的に共演。レコーディングも多く、なかでもパッハの無伴奏ソナタとバルティータ全曲の2度の録音は新時代の名演として評価されている。アンスネスやフォクトとのデュオをはじめ、室内楽でも活躍している。

ピアノ:
ピエール=ロラン・エマール
Pierre-Laurent Aimard, *Piano*

1957年リヨン生まれ。73年メシアン国際コンクールに優勝。19歳でプーレーズからアンサンブル・アンテルコンタンポランのソロ・ピアニストに指名され、リゲティからは練習曲数曲を献呈されている。現代最高のピアニストの一人であり、アーノクールとのベートーヴェン「ピアノ協奏曲全集」は特に注目された。ほかウィーン・フィル、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響など超一流のオーケストラや、ラトル、サロネン、ナガノら時代をリードする指揮者たちと共演している。レコーディングはドイツ・グラモフォンに移籍し、J.S.パッハ「フーガの技法」やメシアン「作品集」など話題盤をリリース。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960
※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。
ホームページからもお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
<http://kajimotoeplus.com/>

検索

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

トリフォニーホールチケットセンター
03-5608-1212 [10:00~19:00]
トリフォニーホール・チケットオンライン <http://www.triphony.com/> [24時間] [10/17]

ホール友の会「トリフォニークラブ」会員募集中!

サントリーホールチケットセンター (03)3584-9999 [10/19,20]
電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 325-264) [10/17]
(Pコード: 325-084) [10/19, 20]

e+(イープラス) <http://eplus.jp/bbg/>
CNプレイガイド 0570-08-9990 [10/19, 20]
ローソンチケット 0570-000-407 [10/19, 20]

カジモト・イープラスの便利な
ケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。



【3公演セット】 Sセット ¥45,000⇒¥39,000 / Aセット ¥39,000⇒¥34,000

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/14(木)12:00~5/18(月)18:00
先行受付専用番号: TEL: 0570-06-9969 [10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]
トリフォニークラブ会員先行販売: 5/22(金)10:00~

カジモト・イープラス、
トリフォニーホールチケットセンターのみ受付

一般発売: 5/23(土)10:00~6/21(日)18:00

【単券】 S ¥16,000 A ¥14,000 B ¥12,000 C ¥9,000 D ¥5,000 プラチナ券 ¥21,000 (10/19, 20)

S ¥13,000 A ¥11,000 B ¥9,000 C ¥6,000 (10/17) (トリフォニークラブ会員はS ¥11,700 A ¥9,900 B ¥8,100 C ¥5,400 同時入会申込可)

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/14(木)12:00~5/18(月)18:00
先行受付専用番号: TEL: 0570-06-9969 [10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]
トリフォニークラブ会員先行販売: 5/22(金)10:00~

一般発売: 5/23(土)10:00~

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

このチラシは再生紙を使用しています
KAJIMOTOはチーム・マイナス6%に参加しています。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: (03)3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>

ピエール=ロラン・エマール
PIERRE-LAURENT AIMARD



エマールが明らかにする対位法芸術の奥義。

J.S.バッハ:
フーガの技法 BWV 1080

ピエール=ロラン・エマール(ピアノ)
録音:2007年9月 ウィーン
CD UCCG-1386
定価¥2,500 (税抜価格¥2,381)



発売:ユニバーサルミュージック

ユニバーサルミュージックのホームページで商品を購入できるようになりました! <http://www.universal-music.co.jp/classics/>



真のエキスパートによる決定盤!
メシアンへのオマージュ
メシアン:
8つの前奏曲

《鳥のカタログ》から もりひばり、ヨーロッパうぐいす
4つのリズムのエチュード から 火の島I、II
ピエール=ロラン・エマール(ピアノ)
録音:2008年2月 ウィーン
CD UCCG-1418 定価¥3,000 (税抜価格¥2,857)



豪華ソリストによるバルトーク協奏曲集!
プーレーズ/バルトーク:協奏曲集
①2台のピアノ、打楽器と管弦楽のための協奏曲
ピエール=ロラン・エマール(ピアノ)、他 ロンドン交響楽団
②ヴァイオリン協奏曲第1番 選作 Sz.36
ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)、ベルリン・フィル
③ヴァイオリン協奏曲 選作 Sz.120
ユージン・パシュエット(ヴァイオリン)、ベルリン・フィル
指揮:ピエール=ロラン・エマール
録音:2004年3月 ベルリン(②③)、2008年5月 ロンドン(①)
CD UCCG-1423 定価¥3,000 (税抜価格¥2,857)